

マサキ外科肛門科 医療機関2025プラン

平成30年10月策定 令和2年12月改定予定

【基本情報】

医療機関名	マサキ外科肛門科
開設主体	個人
所在地	岩国市麻里布町5-3-12
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	19床 一般病床 急性期 19床
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	19床 一般病床 急性期 19床
診療科目	肛門科、外科、胃腸科、整形外科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	15名 1名 7名 3名 4名

作成 担当者	(所属) 院長	連絡先	(電話) 0827-22-0088
	(氏名) 正木 康史		(メール) masaki88@orion.ocn.ne.jp

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

届出入院基本料：有床診療所入院基本料2

平均在院日数 8日、病床稼働率 35.5%

特徴：肛門疾患の手術を多く手掛けている。

② 自施設の課題

当医療圏では最も多くの肛門疾患手術を行っていると思われるが、病棟のマンパワー（特に夜間）の関係で認知症患者さんの受け入れが難しい状況である。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

当医療圏の急性期病院である国立岩国医療センターでは肛門疾患専門医が不在のことが多く、急性期病院の外科勤務医の負担軽減のためにも、今後も入院肛門手術を手掛け、役割分担、地域医療連携を促進していきたいと考える。

② 今後持つべき病床機能

適正な急性期病床を維持して肛門疾患手術を実施し、急性期病院との役割分担、地域医療連携を進めていきたいと考える。入院が必要な整形外科的な患者さん等は他医療機関へ紹介し、役割分担を行っていききたい。

③ その他見直すべき点

岩国医療圏の急性期病床が過剰状態（平成30年現在で207床過剰）であることから、近い将来、現在の急性期病床19床を8床に減床することも考えている。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	19		8予定
回復期			
慢性期			
休棟等			
(合計)	19		8予定
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

② 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

--

③ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】(自由記載)

住民の身近にあって介護事業を実施する有床診療所は、今後構築される地域包括ケアシステムの中で、有用な医療資源であると考えます。専門医療を提供する有床診療所も、急性期病院の勤務医負担軽減に資する役割が期待できます。
